



博多湾を海ごみから守ろう！

プラスチックごみの問題って？

博多湾での海ごみ調査の結果、私たちが毎日よく使っている**プラスチックごみ**が**特に多い**ということが分かりました。実は世界の海でもプラスチックごみは問題になっています。毎年数百万トンを超えるプラスチックごみが海に流れ出ている、このままでは**2050年までに魚の重量より多くなってしまふ**とも言われています※1。プラスチックごみは海に流れ出るとどうなってしまうのでしょうか？

いつまでも海に残る

プラスチックは自然に分解されにくく、素材によっては**分解されるのに数百年**もかかるといわれています。



マイクロプラスチック

プラスチックごみは、長い時間海を漂う間にだんだん碎けて、**マイクロプラスチック**（5mm以下の破片）になります。マイクロプラスチックになると**回収が困難**で、それを食べてしまう生きものへの影響が心配されています。



みんなで海ごみを減らそう！

海ごみを減らし、身近な博多湾などの海を守っていくため、私たちにできることは何でしょう？

例えば、次のようなことを皆さんの生活の中でぜひ取り組んでみてください！



- ごみの**ポイ捨て**はしない
- **清掃活動**に参加する
- **マイバック**、**マイボトル**を使う
- 繰り返し使えるものを選んだり、リサイクルに出すなどして**ごみを減らす**

